事務所／〒738-0015 廿日市市本町5番1号廿日市市商工保健会館4F TEL(0829)31-5490　FAX(0829)31-5491
E-Mail / office20@h-hrc.com　ホームページアドレス http ： //www.h-hrc.com

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

広島廿日市ロータリークラブ会報

―― 本年度会長方針 ――

「広いこころ 豊かなこころ」

NO. 369

例会日／毎週月曜日12:30～13:30　例会場／広島サンプラザ TEL(082)278-5000会長／梶田滋　幹事／久保田幸恵

第733回　2012 年 4 月 23 日

職場訪問例会
JA広島中央会

会長時間

梶田　滋　会長

本日は本年度2回目の職場訪問例会です。渡邊会員のご紹介で、JA広島中央会におじゃましております。皆さん、農協のことをJAと言うのはご存じと思いますが、JAとは何の略かご存知でしょうか。JAは、Japan Agricultural Cooperativesの略になります。

農業は英語でアグリカルチャー（agriculture）といいますが、アグリ（agri ）はラテン語で耕すという意味であり、カルチャー（culture）はご承知のように文化という意味になります。農業は文明（Civilization）ではありません。農業は文化（culture）です。文化の始まりは農業と言えると思います。

本日はJA広島中央会専務の坂本様に、JA グループに関する解説とともに、TPP（Trans-Pacific Partnership）環太平洋パートナーシップ協定の問題点、農業とのかかわりなどの話をお聞きしたいと思っています。

幹事報告

①インフォーマル

今週金曜日（4/27）18：30～　サンプラザにおきましてインフォーマル・ミーティングを開催します。

出欠表をお送りしますので、ご出席をよろしくお願いします。

第734回　2012 年 5 月 11 日

創立17周年記念夜間例会
於：シェラトンホテル広島　3階「美波」

会長時間

梶田　滋　会長

本日は、創立17周年記念夜間例会です。インターアクトクラブの高橋先生、神谷先生、RCCの皆さん、米山奨学生の呉さん、ようこそいらっしゃいました。

当クラブは、広島西南ロータリークラブをスポンサークラブとして、1995年5月8日に創立しております。創立当初の様子は、森井クラブ研修リーダーに卓話で詳しくお話していただいております。

創立会員は33名で、現在の会員数は37名であり、会員数はあまり増加していません。会員増強が奨励されていますが、私は会員が多ければ多いほど良いとは思ってはいません。もちろん、会の運営が困難になるほど会員数が少なくなってはいけませんが、運営が行えるだけの財務基盤ができていれば、それ以上に無理をして会員を増加させることには賛成できません。現在の会員数37名を維持することができれば、当クラブを運営するための資金は十分確保することができます。

当クラブの大きな特色である、仲の良さ、協力しあう関係は、会員数が少ないことも大きく

影響していると思います。会員数が多すぎるクラブでは、色々な活動が必ずしも活発には行われていない、ということも耳にします。当クラブには、インターアクトクラブとRCCがありますが、両方あるクラブは、2710地区74クラブの中で2クラブだけと聞いております。

昨年11月の第2例会の理事会報告で行いましたように、次年度、当クラブがスポンサーとなりRYLAを開催いたします。ガバナーエレクトが、スポンサークラブとして、当クラブを指名されましたのも、一枚岩のクラブであるということが、大きく影響していると思います。

これからも、クラブの伝統を継続させ、さらに良いクラブにさせて行きたいと思います。

以上で会長時間といたします。

感謝状と記念品の授与がございます。

山陽女学園高等部　高橋先生、神谷先生、
RCC稲田さん、西川さん、船木さん、笠井さん
ロータリークラブ　梶田会長、久保田幹事
（廿日市市薬剤師会 会長　渡邊 英晶様から授与）

幹事報告

①インターアクト指導者研修会

5月14日(土)　11：30～　インターアクト指導者研修会が福山福祉専門学校にて開催されます。ご登録いただきました方は、ご出席くださいますようお願いいたします。

②次回例会

5/14（月）は、サンプラザでの通常例会が行われます。

12：30～13：30　通常例会、13：40～14：50　次年度第2回理事会

15：00～　ライラ実行委員会会合の予定です。

よろしくお願いします。

委員会報告

2011学年度　ロータリー米山記念奨学生
呉曉麗　様

2009学年度ロータリー米山奨学生　崔明福さんのカウンセラー 青木　秀行会員から、崔さんからのメッセージ代読

懇親会

乾杯　有田　晴好　直前会長

閉会挨拶　中井　克洋　副会長

活動報告

4月27日　広島サンプラザにおいて、次年度に向けインフォーマル・ミーティングが開催されました。

山菜とバーベキュー
5月5日に山菜とバーベキューが開かれました。
写真:渡邊会員

当クラブ元会員である本﨑一宏さんが平成24年2月10日　53歳で永眠されました。
本﨑さんの追悼コンペが平成24年5月10日美和ゴルフクラブで行われました。この美和ゴルフクラブは本﨑さんが生前お気に入りのゴルフ場だったので追悼ゴルフコンペを行うことになりました。
記念植樹はヤマボウシの木です。

インターアクト指導者研修会
5月12日に福山福祉専門学校にて「しあわせのサポート～福祉に対する理解を深めよう～」のテーマの基に第35回インターアクト指導者研修会が行われました。

ロータリーひとくちメモ㉑

「ロータリー財団」ロータリー国際親善奨学金

国際親善奨学金プログラムは、民間の留学プログラムとしては、世界最大規模の奨学金制度です。ロータリー・クラブの所在する他国で勉学または研修を受けるために、ロータリー国際親善奨学金が授与されています。勉学期間中、ロータリー奨学生は、留学先の国で親善使節を務めることになります。

1学年度国際親善奨学金
1学年度奨学金は、他国で1学年度（通常9ヶ月）勉学するものです。ほとんどの分野の研究が認められています。

マルチ・イヤー国際親善奨学金
マルチ・イヤー国際親善奨学金は1学年度国際親善奨学金によく似ています。但し、名称からも分かるとおり、その期間は2年間です。このマルチ・イヤー国際親善奨学金は、他国で学位を取得するための費用の一部として、年額一律の補助金を支給します。奨学生は、ホスト国の言語に堪能でなければなりませんし、学位を取得できる教育課程に登録しなければなりません。

♥ 心に作用する逸品のコーナー ♥

心に残る逸品

紹介会員：梶田　滋

皆さんは、積丹（しゃこたん）半島をご存じでしょうか。札幌の北西方向にあり、日本海に突き出ている半島になります。小樽を通過し、ニッカウィスキーの工場がある余市までは、JR函館本線が通っています。函館本線は余市から南下するため、半島に行くためには、ここからは車で行くしか手段がありません。2002年に落盤で20人が生き埋めになるという悲惨な事故があったトンネルは、余市から先にあります。このトンネルを通り、さらに進むと半島の端は余別になり、さらに先端は神威岬になります。

私が初めて余別に行ったのは、約30年前になります。仕事で札幌に行った際、仕事を終えた週末に札幌で延泊し、友人に積丹半島を案内してもらいました。この時初めて食べたのが、「ウニ丼」です。余別の道路沿いにある食堂では、いたるところで「ウニ丼あります」と書いてありました。余りにもたくさん看板があるので、何気なく「ウニ丼」を注文してみました。ところが、この「ウニ丼」を一口食べた瞬間、「うまっ」二人の声が揃いました。無心で「ウニ丼」を食べ、「おばちゃん、ウニ皿」また二人の声が揃いました。この積丹半島の「ウニ丼」は、私にとって忘れことにできないものになりました。

結婚後、この積丹半島の「ウニ丼」を妻にも食べてほしいと思い、現在22歳になる長女が3歳で幼稚園の年少組、20歳になる長男がまだおむつをしている時に、家族で北海道に行くことにしました。この北海道旅行は両親にも声を掛け、家族6人で行くことになりました。

広島から余別まで行くのは大変です。まず、飛行機で札幌に行き、定山渓温泉で1泊します。翌朝、レンタカーでひたすら余別に向かって走ります。途中、小樽の運河、ニッカの工場などに立ち寄り、お昼すぎにやっと余別に到着です。

広島から1泊してまできた余別。やっと食べられる「ウニ丼」。私は迷わず注文しました。
「ウニ丼！」
次は妻の注文です。
「イクラ丼」
「エッ！‥‥」
心に残る「一品」になりました。